

事務室かわら版

2020

3学期号



ご家庭向け事務室だより 令和3年3月3日

発行：桃谷中学校 事務室



今年度の口座振替（徴収金）は終了しました。1・2年生につきましては、来年度も引き続きよろしくお祈いします。

今年度使用した教材の 費用対効果の検証をしました



～保護者負担の軽減につなげています～

学校で使う教材については、一部保護者の皆様からお預かりした学校徴収金により購入しています。そのため、今年度購入した教材等の効果を検証し、その結果を踏まえて来年度の教材を選ぶことが重要です。また、教材選びについては、ただ単に費用を安く抑えればよいということではなく、最小限の費用で最大限の効果をあげるためにどうするかを教職員で考え、皆さまの負担を適正なものとしていくことを念頭においています。

今後も学校・事務室では、保護者負担の軽減に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお祈いします。来年度の予算書及び毎月の納入金額表は、4月中旬に配付予定です。



お知らせ！令和3年度就学援助

制度の申請について

～申請をお考えの方は、お早めに～

1月末に「就学援助制度のお知らせ」を全てのご家庭に配付しております。12 要件ある申請理由に該当される場合は、ぜひ制度をご活用いただき、お早めに申請書と証明書類をご提出ください。

・申請書等の提出場所・提出方法

提出場所：桃谷中学校事務室

提出方法：原則、保護者の方が持参・送付

・申請書等の提出時期

早期申請：3月15日（月）まで

一般申請：6月30日（水）まで

その他申請の注意点などについては、「就学援助制度のお知らせ」をご覧ください。学校HPにも「お知らせ」「申請書」等を掲載しています。

就学援助制度は憲法をはじめ、様々な法律により保障されている制度ですので、安心してご利用ください。



～前号のアンケートでいただいたご意見について～

◎スクールサポートスタッフの詳細が知りたい

（国の第二次補正予算において、感染症対策の一環である「学びの保障」事業により配置）

・人数、勤務時間について

→本校では8月より1名の配置があり、週3日・合計15時間勤務しております。

・配置数など数値的な情報について

→令和2年10月現在、小学校93校と中学校40校に133名配置（大阪市教育委員会HPより）

アンケートにご協力ください（所要時間約3分）

内容等の更なる充実に向け、皆様からご意見をいただくためアンケートを実施しております。ご協力いただける方は、下のQRコードを読み取りご回答ください。（回答者様の個人情報に関する項目はありませんので、安心してお答えください）

また、ご意見・ご質問等ございましたら、お電話でもお待ちしております。事務室：06-6712-0017

<https://forms.gle/ronQm1kMNSTCh2w7A>



※裏面につづく

令和3年度大阪市予算案

～教育・学校に関するものを中心に～

令和3年度の大阪市当初予算が公表されました。一般会計は約1兆8,300億円となっています。学校に関する事業を抜粋して取り上げます。

・学校給食費の無償化 (60億500万円)



令和2年度に限り小中学校の全児童生徒の保護者から学校給食費を徴収しないこととした措置を、未だ予断を許さない新型コロナウイルスによる社会情勢を踏まえ、令和3年度も全児童生徒（小中学校）を対象に継続実施。

・家庭でのオンライン学習環境の整備 (5億2,700万円)

新型コロナウイルス感染拡大による学級休業時における学びの保障として、家庭におけるオンライン学習や、デジタルドリル等のデジタル教材を活用した学習を実施。

インターネット環境のない家庭については、モバイルルータを貸与し、通信費を本市が負担。

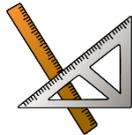


・4ブロック化による学校支援事業 (4億4,200万円)

令和2年度から小中学校を4つのブロックに分け、課題に応じた必要な支援策を実施。

支援内容

- 読解力診断テスト活用や学習支援教材購入
- 学びサポーターの配置
- 学び直し用教材の購入



・学校教育ICT活用事業 (53億2,800万円)

1人1台の学習者用端末を、普段の授業や家庭学習など日常的に活用し、多様な学習の機会と場を提供。

(1人1台端末整備は令和2年度補正予算により前倒し実施。85億7,800万円)

クラウドサービス上のデジタルドリルを活用した個に応じた学習や、教科書に掲載のQRコードを読み取り、動画コンテンツを視聴するなどの思考を深める学習等に活用。

学校におけるICT教育が円滑に進むよう、ICT教育アシスタント（ICT支援員）を増員。(8名→37名)



・スマートスクール次世代学校支援事業 (8億1,100万円)

様々な学習履歴、生活指導状況、出欠状況、保健室来室状況等の情報を集約・一元化して1つの画面にまとめて表示するシステム（ダッシュボード）を構築し、全ての教職員が子どもの情報を多面的かつ即時的に共有することで、学習面・生活面における様々な問題の未然防止・早期発見による迅速かつ適切な対応やきめ細やかな指導を実現。いじめアンケートの電子化など、いじめ不登校の未然防止・早期発見等にも活用。

・災害時避難所となる中学校体育館への空調機設置事業

(43億1,300万円)

猛暑時の大規模災害における、避難所での二次被害を防止する観点から、市内全中学校体育館に空調機を設置し避難所生活の環境を確保。

教育現場における熱中症対策においても効果的であることから、夏場の部活動等にも活用。

令和2年度24校（各区1校）設置済

令和3年度102校、令和4年度2校設置予定



★学校関係以外でも…

・塾代助成事業 (23億7,300万円)

月額上限1万円の助成、市内中学生の約半数が助成対象者となるよう一定の所得要件を設定。

・スマートシティ戦略推進事業 (1億4,400万円)

令和2年8月より、行政手続きをネットでできるようにする、行政オンラインシステムが稼働。全手続き約3,000のうち、令和3年度末までに500、5年度末までに1,000手続きをオンラインで行えるようになる予定。

その他、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策の充実」「市民サービスの充実」「大阪の成長」という方向性を基本に予算が編成されています。（詳しくは大阪市のホームページや区広報紙などをご覧ください）

来年度の大阪市の予算について特集しましたが、自治体予算には将来への道筋などが反映されており、大阪市がどういう方向に進んでいこうとしているのかを確かむことができます。学校としても国や市の動向を注視し、配当される予算を有効に活用することで、保護者の負担を少しでも軽減できないか、検討を重ねています。

来年度以降も事務室だより等を通じて、情報発信を密にしていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

事務室 普久山（ふくやま）